4.

术 术 時 閣 力 0 バボジア 歴史

南部カンポ に向かって、 横たわった女性は、家族に席を外とは呼べないような粗末な小屋に た。2006年の夏、カンボジア 小さな声で話し始め

でいる中川。彼女が「最も心に残り、この間に横行していた性犯罪や のなれよられようとするその実 のは、忘れ去られようとするその実 のは、これまられようとするその実 るインタビューだった」と振り返

、当時私は既に亡くなった夫と

指導者の責任基及は、男性の視点 「特別法廷などで進む実態解明や 「特別法廷などで進む実態解明や 若い女性、同性愛や性同一性障害史は男性のものだ」といえると、 からのものばかりで、書かれる歴 大阪大を卒業後「ボル・ボト時

で、言葉は途絶えがちだったといずにぎた秘密を、初対面の中川に

進む実態解明

30年近く、誰にも打ち明けられとでした」

私の一番下の原子 いたのですが、レ

> われる国民が命を 士が家に来てちゃんと性交渉をし まくいっていなかったら殺される

> > 引き出され、切ったはずのパソコもある。証言を録音したテープは

と中

が表沙汰になることを望まない のスイッチが入れられ、

いた。マ 暗闇で

人の男女を並ばせ、

性は未婚の妊娠が発覚して「組織」ならない」と打ち明けた。その女 た子の中絶を頼まれたのに失敗しある助産婦は「レイプで妊娠し 起こした暗黒の歴史は壮絶だ。き延びるための売春。中川が掘り 男性と強制結婚させられた後、兵供を池に捨てていた」「見知らぬ に恋愛関係になった男女はみな道 出塵した未婚の女性は、直後に子

結婚、横行するレイプと殺人、生い合った者同士が夫婦になる強制

生変で変装とくつろくシム・サレット (石畑)。子どもも無事育ち、夫 (中央) と平穏な日々を送るが、 つらい記憶が心から消えることはない。ボル・ボト時代の体験は今でも変装と話すことがよくあるという

中川は今、ポル・ポト時代に出産けた被害などの証言録を出版した した女性を対象に調査に取り ル・ボト時代の妊娠体験を聞いてム・サレット(60)と向き合い、ボ 市、コンポンチャムの郊外で、シ6月、中川はカンボジアの地方都 ばかりだった」 かったが、病気がちでつらいことした。子供が生まれた時はうれし をする手法は変わらな

った」ー。ボル・ボト時代に与えず、誰かと口を考くことさえ怖からもいつ殺されるかと不安でなら 「隣の一家はある日、全員が組 あそこにあった池 自分た

りっぱなしになっている過去を掘 今も続き、被害者は声を上げられ 今も続き、被害者は声を上げられ れ、目に涙が浮かぶ時もあった。 り出し、清算しないと、 なかったんです」 ら言葉がせきを切ったようにある

(文・井田徹治、敬称しりと書き込まれてい 今の被害 理だと思い、中絶しようと無理にも飲み物もなかった。子育ては無も飲み物もなかった。子育ては無 ムは妊娠や子育ての苦難を語る。

子育ての苦難

酒を飲んだり、おなかを石でたた 産の経験を持つ。中川は、彼女の(61)もボル・ボト時代に妊娠と出シムの陰家に暮らすムイ・キー 後には畑に出された。着る服され、出題3カ月 きず、自分も妊娠8カ月まで農場 「遠くの農地で強制労働をさせい出なども尋ねながら話を聞く。 を浮かべ、幼少期の楽しかった思気持ちを和らげるかのように笑み 放りつばなし

つ」とも。正義へのこだわりと怒りが原動力だ。急速な経済発展を遂げ るカンボジアの首都、アノンベンは豪華なビルの建設ラッシュで、日本 企業の関心も高い。だが、町には路上生活者があふれ、農村部の貧困は 深刻。遠法伐採などの環境破壊が先住民の暮らしを脅かす。華やかなネ オンサインに目をくらまされることなく、弱者の姿を見つめ、声なき声 を聴くこと。それは記者にとっても重要なことだと、あらためて感じた。

性犯罪被害掘り起こす

記者ノート

声なき声ひろう

「声を上げられずにいる人の声に誰かが耳を傾け、掘り下げていかな いと弱者はいつまでも報われない」と中川は言う。「正義なんて言葉は あまり使いたくないけど、正義は大切。性犯罪の加害者にも腹が立つけ ど、被害者なのに自分を責めて泣き寝入りをする女性にはもっと腹が立

次回は12日に掲載しま

ア・コンポンチャム州 (撮影・村山幸親、共同)家を1軒ずつ訪ねる根気のいる作業だ

